

施策評価シート

施策等名称	公立諏訪東京理科大学等との連携による、産業育成と雇用創出	体系番号	0705010102
		主管課	地域戦略課

1 施策基本情報

現状と課題	国が進める「地域IoT実装推進ロードマップ」における各分野のIoTの実装状況について、全国的に低い実施にとどまっていますが、茅野市でもほとんど行われていない状況であり、今後ICT、IoTを活用した人材育成と雇用創出につながるサービスへの実証実験を踏まえた事業の検討が必要です。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	公立諏訪東京理科大学等との連携により、ICT、IoTを活用した産業、人材育成と雇用創出につながる取組を検討し、地域の活性化へつなげます。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
①	コワーキングスペース利用料収入	コワーキングスペース年間利用料収入(千円)	-		進行管理を行う中で 進行管理を行う中で
②	諏訪東京理科大学とのICT活用による連携事業の実施数	スワリカブランド当年度開発件数(件)	-		進行管理を行う中で 進行管理を行う中で
③					

施策の柱	名称	公立諏訪東京理科大学等との連携による、産業育成と雇用創出		主管課	地域戦略課・商工課			
	詳細	公立諏訪東京理科大学等との連携により、ICT、IoTを活用した産業、人材育成と雇用創出につながる取組を検討し、地域の活性化へつなげます。						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1	コワーキングスペース利用料収入	コワーキングスペース年間利用料収入(千円)	-	1 行管理を行う中で 2 行管理を行う中で	1 コワーキングスペースにおけるICT化推進事業 2 LPWA技術を活用した実証実験と事業化検討	実施 実施	
	2	諏訪東京理科大学とのICT活用による連携事業の実施数	スワリカブランド当年度開発件数(件)	-	3 行管理を行う中で 4 行管理を行う中で			
	3				5 6			
	基本政策間連携							
	施策の体系	名称			主管課			
		詳細						
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
		1				1 2		
		2				3 4		
		3				5 6		
		基本政策間連携						
		施策の柱	名称			主管課		
詳細								
まちづくりの目標指標			指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
1						1 2		
2						3 4		
3						5 6		
基本政策間連携								

施策等名称	公立諏訪東京理科大学等との連携による、産業育成と雇用創出	体系番号	0705010102
		主管課	地域戦略課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	1	コワーキングスペース利用料収入	-	7475.00			
			進行管理を行う	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
変動要因等	2018年度	開設当初から創業者が入居したり、創業者であっても新規事業を模索したりといった動きが出ており、まずまずの稼働状況である。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
施策	2	諏訪東京理科大学とのICT活用による連携事業の実施数	-	3.00			
			進行管理を行う	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
変動要因等	2018年度	地方創生推進交付金を活用して実施する『産学公連携「スワリカブランド」創造事業』のKPIを設定。同事業を通じた新技術・新製品等開発件数の2018年度実績値。目標値2件に対して3件開発することができた。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	1	コワーキングスペース利用料収入	-	7475.00			
			進行管理を行う	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
変動要因等	2018年度	開設当初から創業者が入居したり、創業者であっても新規事業を模索したりといった動きが出ており、まずまずの稼働状況である。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	2	諏訪東京理科大学とのICT活用による連携事業の実施数	-	3.00			
			進行管理を行う	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
変動要因等	2018年度	地方創生推進交付金を活用して実施する『産学公連携「スワリカブランド」創造事業』のKPIを設定。同事業を通じた新技術・新製品等開発件数の2018年度実績値。目標値2件に対して3件開発することができた。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	公立諏訪東京理科大学等との連携による、産業育成と雇用創出	体系番号	0705010102
		主管課	地域戦略課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)	2019年 (前年度比)	2020年 (前年度比)	2021年 (前年度比)	2022年 (前年度比)
投資額	事業費(円)	41,620,600	102,183,000 2.46			
	うち一財(円)	21,271,754	51,763,000 2.43			
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)					
進捗評価		おおむね順調				
総合評価	主な取組内容や成果	<p>①コワーキングスペース貸出は満室状態を維持し、月極デスクシェアを設けたことにより、様々な職種の人が集まり出し、活気を生み出している。</p> <p>②理科大との連携によるスワリカブランド創造事業を通じて、IoT通信技術を活用した地域課題の解決に向けた研究開発を実施。</p>				
	課題	<p>①地元の製造業との連携や、理科大生の利用を促進するなど、より地域に根差した施設にする必要がある。</p> <p>②実用化を見据えた研究開発をスピード感を持って推進する必要がある。</p>				
改革・改善	改革・改善内容	<p>①時代の潮流に合った、魅力あるイベント等の開催を継続し、訴求力を持った施設としていく必要がある。</p> <p>②研究開発のみならず、それをユーザーに届けるための新サービスを一体的に創出し、実用化に向けた動きを具体化する。</p>				
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1			
		重点事業	2			
	理由	<p>新たな産業を生み出すことにつながる取り組みであり、基本目標に最も合致することから、IoT通信技術を活用した実証実験と事業化検討(スワリカブランド)を重点事業とする。</p>				

作成担当者	両角香代			
最終評価責任者	加賀美積			
最終評価年月日	2019年5月31日			